



# 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月12日

上場会社名 松田産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7456 URL <http://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR部長 (氏名) 木下 敦視

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

平成30年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	102,721	9.0	2,505	13.7	2,722	12.3	1,856	13.1
30年3月期第2四半期	94,282	19.3	2,203	77.0	2,422	69.7	1,641	69.4

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,459百万円 (8.2%) 30年3月期第2四半期 1,590百万円 (1,979.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	70.49	
30年3月期第2四半期	62.34	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	77,327	57,738	74.6
30年3月期	80,261	56,648	70.5

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 57,683百万円 30年3月期 56,592百万円

(注) 「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、平成30年3月期については遡及適用後の数値を記載しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		14.00		14.00	28.00
31年3月期		15.00			
31年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	5.2	5,000	2.5	5,200	1.1	3,500	1.2	132.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	28,908,581 株	30年3月期	28,908,581 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	2,575,665 株	30年3月期	2,575,524 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	26,332,956 株	30年3月期2Q	26,333,427 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(追加情報)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用情勢の改善など、緩やかな回復基調が続きましたが、通商問題が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性などから、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループの貴金属関連事業においては、営業展開の強化と国内外の生産拠点活用により、貴金属原料の確保、化成品等の製品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に取り組んでおります。また、食品関連事業においては、顧客ニーズを捉えた商品の開拓と提供に鋭意取り組み、国内はもとより、海外展開の拡大も含めた積極的な営業活動を推進し、販売量の拡大に努めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高102,721百万円（前年同四半期比9.0%増）、営業利益2,505百万円（前年同四半期比13.7%増）、経常利益2,722百万円（前年同四半期比12.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,856百万円（前年同四半期比13.1%増）となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### 貴金属関連事業

当事業の主力顧客であるエレクトロニクス業界は、電子部品・デバイス分野の増勢に鈍化が見られたものの、全体的には好調に推移しました。このような状況の中で当社グループの貴金属関連事業では、貴金属リサイクルの取扱量は拡大し、貴金属製品の販売量及び産業廃棄物処理の取扱量が増加したことから、貴金属製品の販売価格は低下したものの、全体としての売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は66,266百万円（前年同四半期比10.1%増）、営業利益は1,625百万円（前年同四半期比16.9%増）となりました。

#### 食品関連事業

当事業の主力顧客である食品製造業界は、国内の個人消費に力強さを欠く中で、加工食品需要の高まりや海外展開の拡大などにより、緩やかな上昇傾向で推移しました。このような状況の中で当社グループの食品関連事業では、水産品、畜産品の販売量が増加し、水産品の販売価格の上昇もあり、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は36,498百万円（前年同四半期比6.9%増）、営業利益は880百万円（前年同四半期比8.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,933百万円減少し、77,327百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金とたな卸資産の減少によるものです。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,023百万円減少し、19,589百万円となりました。これは主として借入金の減少によるものです。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1,090百万円増加し、57,738百万円となりました。これは主として期末配当金の支払いを上回る利益剰余金の増加によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ846百万円増加し8,418百万円となりました。

（営業活動のキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により増加した資金は5,713百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益、売上債権及びたな卸資産の減少による資金の増加と、法人税等の支払いによる資金の減少の差引によるものです。なお、前年同四半期の7百万円の資金の増加に比べ5,705百万円増加しました。

（投資活動のキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は556百万円となりました。これは主として工場設備及び車輛等の有形固定資産取得によるものです。なお、前年同四半期の1,076万円の支出に比べ520百万円の支出減少となりました。

（財務活動のキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により減少した資金は4,226百万円となりました。これは主として借入金の減少によるものです。なお、前年同四半期の2,131百万円の資金の増加に比べ6,357百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、前回発表時（平成30年5月11日）の業績見通しを変更していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,571	8,418
受取手形及び売掛金	22,502	21,442
商品及び製品	16,778	14,603
仕掛品	393	478
原材料及び貯蔵品	6,531	6,425
その他	3,584	3,046
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	57,362	54,413
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,201	9,183
減価償却累計額	△4,875	△5,003
建物及び構築物(純額)	4,325	4,179
機械装置及び運搬具	8,383	8,484
減価償却累計額	△6,740	△6,929
機械装置及び運搬具(純額)	1,643	1,555
土地	8,925	8,902
リース資産	849	1,049
減価償却累計額	△284	△374
リース資産(純額)	564	674
建設仮勘定	199	281
その他	1,135	1,317
減価償却累計額	△927	△955
その他(純額)	208	362
有形固定資産合計	15,867	15,956
無形固定資産		
その他	774	712
無形固定資産合計	774	712
投資その他の資産		
投資有価証券	4,575	4,575
繰延税金資産	72	81
その他	1,673	1,604
貸倒引当金	△64	△16
投資その他の資産合計	6,256	6,244
固定資産合計	22,898	22,914
資産合計	80,261	77,327

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,626	6,958
短期借入金	7,402	1,165
1年内返済予定の長期借入金	1,063	1,249
リース債務	206	241
未払法人税等	1,155	897
賞与引当金	763	890
その他	3,104	3,600
流動負債合計	21,321	15,003
固定負債		
長期借入金	535	2,851
リース債務	456	514
役員退職慰労引当金	604	593
執行役員退職慰労引当金	23	25
退職給付に係る負債	224	235
繰延税金負債	333	305
その他	115	59
固定負債合計	2,291	4,585
負債合計	23,613	19,589
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	50,238	51,725
自己株式	△3,010	△3,010
株主資本合計	54,795	56,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	630	575
繰延ヘッジ損益	121	33
為替換算調整勘定	1,101	837
退職給付に係る調整累計額	△56	△47
その他の包括利益累計額合計	1,796	1,399
非支配株主持分	55	55
純資産合計	56,648	57,738
負債純資産合計	80,261	77,327

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	94,282	102,721
売上原価	85,410	92,920
売上総利益	8,871	9,801
販売費及び一般管理費	6,668	7,295
営業利益	2,203	2,505
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	15	16
投資有価証券売却益	-	12
持分法による投資利益	248	160
仕入割引	7	6
為替差益	-	30
その他	22	32
営業外収益合計	298	263
営業外費用		
支払利息	23	28
為替差損	29	-
投資有価証券評価損	17	-
その他	8	19
営業外費用合計	79	47
経常利益	2,422	2,722
税金等調整前四半期純利益	2,422	2,722
法人税、住民税及び事業税	836	839
法人税等調整額	△65	17
法人税等合計	770	856
四半期純利益	1,652	1,865
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,641	1,856

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,652	1,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	△54
繰延ヘッジ損益	△47	△93
為替換算調整勘定	3	△264
退職給付に係る調整額	8	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△37	1
その他の包括利益合計	△62	△405
四半期包括利益	1,590	1,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,577	1,459
非支配株主に係る四半期包括利益	12	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,422	2,722
減価償却費	685	647
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△46
賞与引当金の増減額(△は減少)	134	127
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19	22
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	19	△30
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	△0
受取利息及び受取配当金	△19	△21
支払利息	23	28
持分法による投資損益(△は益)	△248	△160
売上債権の増減額(△は増加)	△3,234	988
たな卸資産の増減額(△は増加)	470	2,140
仕入債務の増減額(△は減少)	△47	△618
その他	97	930
小計	321	6,728
利息及び配当金の受取額	171	103
利息の支払額	△23	△27
法人税等の支払額	△462	△1,091
営業活動によるキャッシュ・フロー	7	5,713
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,111	△542
無形固定資産の取得による支出	△28	△31
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
投資有価証券の売却による収入	-	18
その他	69	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,076	△556
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,142	△6,244
長期借入れによる収入	-	3,000
長期借入金の返済による支出	△568	△497
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△368	△368
その他	△73	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,131	△4,226
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△84
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,069	846
現金及び現金同等物の期首残高	6,784	7,571
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,853	8,418

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。この変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	60,180	34,101	94,282	—	94,282
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	29	29	△29	—
計	60,180	34,131	94,312	△29	94,282
セグメント利益	1,390	813	2,203	—	2,203

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	66,266	36,454	102,721	—	102,721
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	43	43	△43	—
計	66,266	36,498	102,765	△43	102,721
セグメント利益	1,625	880	2,505	—	2,505

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。